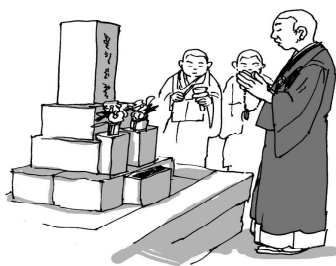


東崎山だより 令和2年3月号 通刊146号

355-0044 東松山市正代755-1 電話 0493-34-3706(6555) FAX 0493-34-6555
email: semyojuji@yahoo.co.jp HP: tosaki.web.fc2.com/index.htm 携帯 090-2446-5209

お彼岸はいつ頃から始まった？



お彼岸は日本独自の仏教行事。もともとは遠い昔、民間で行われていた太陽を信仰する農耕儀礼が仏教の教えと結びつき、現在の形のようになってきたというのが定説。古来より、彼岸の由来は先祖を偲び供養することにあつたことは確かです。彼岸会の法要が平安時代にはすでに行われていたことは『源氏物語』の記述からも明らかです。

鎌倉時代には、武士の間で追善供養として行われるようになり、一般民衆の間に浸透していったのは江戸時代になってからで、彼岸参りという観音霊場巡りなどが盛んにおこなわれるようになりました。彼岸が暦にのり、春・秋の各7日間と定められたのも江戸時代とされています。

「今日彼岸、菩提の種をまく日かな」

お彼岸の1週間は人として幸せで理想的な日暮らしができるよう、自分自身をふりかえり学習する研修期間です。私たちは平生の暮らしに追われて、み仏の教えを聴聞し戒めを守る信仰生活の大切さを見失ってしまいがちです。大自然の恵みに感謝し、この地球上に祖先が受け継ぎ、両親を縁として頂戴し、生かされている尊い私の「いのち」。

お彼岸に先人達はなぜ、ぼたもち、おはぎ(現代では想像もできない貧しい時代に餅米、お米、砂糖、小豆を使った最高の食べ物でした)やだんごを作り、感謝の心を添えてお仏壇にお供えし、墓参りをされたのか。その光景に思いを馳せ、私自身の「いのち」のあり方を見つめ直す大切な精神衛生週間がお彼岸です。

仏の心の一粒の種を発芽させ成長する姿を、子供や孫達に託し、ともに育てることがご先祖様への真心のご供養となります。

具体的な修養徳目は次の「六波羅蜜(ろくはらみつ)」です。

- 「布施(ふせ)」 財物ばかりが布施ではありません。～「施そう、物も心も」～
- 「持戒(じかい)」 行いを正しましょう。～「保とう、仏の規律」～
- 「忍辱(にんにく)」 怒りやすい心を治めましょう。～「耐えよう、どんなことにも」～
- 「精進(しょうじん)」 怠りの心をなくしましょう。～「努めよう、あらゆることに」
- 「禅定(ぜんじょう)」 散りやすい心を静めましょう。～「落ち着こう、心しずかに」
- 「智慧(ちえ)」 愚かな暗い心を明らかにしましょう。～「目覚めよう、仏の道に」

この六つのうちひとつでも行うことによってこちらの岸から彼岸に渡ることができるかとされています。

「布施」を行えば、おのずと持戒、忍辱、精進、禅定、智慧もついてきます。みんなで善い種まきをして明るい日常生活を続けたいものです。



お知らせ

■塔婆供養は建立した本人のためでもあります！

仏典にも「塔を建てて供養すべし」とあるように、塔婆供養は故人への最高の感謝の証です。仏教の修養期間である彼岸の良き日に、この善行を積まれることを、ぜひおすすめします。

塔は、天と地を結び、供養の心は故人に届くのです。しかも、その功德は供養した人にも回向される、というありがたい行事です。

「家先祖代々精霊」又は「(戒名)霊位」で、電話又はFAXで込みを 一塔 5000円

■東日本大震災追悼法要 3月11日(水) 2時46分



時は早いもので、東日本大震災からまもなく9年がたちます。

そこで、当山では、昨年同様、被災から10年目に当たる3月11日に合わせ、

- ①被災地の追悼並びに被災各地の早期復興を祈願するため、地震発生時刻の午後2時46分に鐘を撞きます。
- ②追悼慰霊法要を修行します。

■お知らせとお詫び

～令和元年度『禅をきく会』中止について～

令和2年3月6日(金)大宮ソニックシティ大ホールにて開催予定の曹洞宗関東管区教化センター主催「禅をきく会」につきまして、新型コロナウイルス感染を危惧致しまして、開催を中止とさせていただきます。開催を楽しみにされていた方々には、大変申し訳ございませんが、ご理解の程お願い申し上げます。

■今月ことば

死のうと思う日はないが 生きていく力がなくなることがある
そんな時、私はお寺を訪ね ブッダの前に坐ってくる
かわき明日を思う心が 出てくるまで坐っている



■今月の予定

- 寺子屋 7, 14, 21, 28日
- 坐禅会・写経会 8, 22日 坐禅：7時 写経：8時
- 東日本大震災追悼法要 11日 午後2時46分
- 春彼岸 17～23日 20日(彼岸会 10時)
- 護持会役員会 29日 監査会・役員会 午後2時30分

■年回忌法要年に当たっている仏様が祀られている家には、関係各家にご案内をさせていただいております。法要日時等は、できるだけ早めにご相談下さい。